

10日間に10万人が読む雑誌

+plus

# 経済レポート

2026 1.20 1903号

URL/ [www.keizai.info](http://www.keizai.info)  
[www.keizai.co.jp](http://www.keizai.co.jp)  
 Mail/ [info@keizai.co.jp](mailto:info@keizai.co.jp)

2026 (令和8) 年 1月20日発行 (毎月1日・10日・20日発行) 1973 (昭和48) 年 7月27日 第三種郵便物認可

＼ デザイン業務を外注するなら! /

## デザインのコンビニ

ビジネスシーンでの販促効果・社内浸透効果を最大化!

最短  
即日  
納品

× 伝わる  
デザイン

× 安心  
価格

e+のサンテック

サンテック福山 | 0120-939-992

広島県福山市南蔵王町4丁目17-43

詳細はこちら



**坂本工務店**  
THE MEISTERS

HP Instagram YouTube

**HOTEL 123**  
ホテルワン・ツー・スリー

朝食無料サービス (7:00~9:00)

1-2-3料金システム

1 1人で泊まって  
2 1室2人で泊まって  
3 1室3人で泊まって

1室の人数が増えるともますます割安で宿泊

【福山】TEL(084)932-3939  
 【倉敷】TEL(086)430-3939  
 【小倉】TEL(093)513-0018

ご自宅で眠っている貴金属をお売りください。キャンペーン実施中!

**地域トップクラスの地金買取**

広島県公安委員会交付古物商許可証 第731210800054号

ジュエリー&ウォッチ  
**ミムラ**  
MIMURA SINCE 1913

天満屋福山店  
ゆめタウン福山店  
フジグラン神辺  
ミムラ本通店

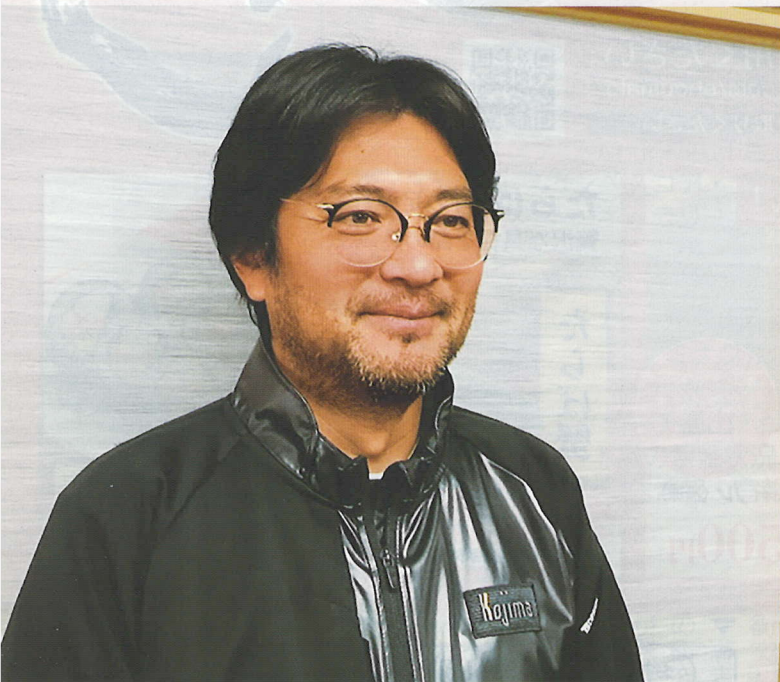
ペーパーレス化のお悩み、ご相談ください

**設備点検システム**  
「S-Rinx(エスリンクス)」

スマホを使った調査点検作業でDXを推進! S-Rinx

他社商品も取り扱っています

**株式会社エコー・システム**  
TEL 084-927-1600



(株)児島工務店 社長 [岡山市] **児島真介** さん



三原市芸術文化センター・ポポロ 館長 [三原市] **片山杜秀** さん

柿原銘板

読み捨てられない、ニュースがある。読み捨てたくない、ニュースがある。

ANNIVERSAL JOURNAL PLATE

本 社/広島県福山市賀島町南丘399-11 TEL 084-953-8800  
 Email: [journalplate@kakiharemeiban.co.jp](mailto:journalplate@kakiharemeiban.co.jp)

白内障手術・硝子体手術

**中山眼科**  
nakayama EYE clinic

福山市川口町4丁目21番31号  
 TEL 084-954-9000 中山眼科

ハイエースを  
中心としたプロショップ

**Toy-Factory BARDEN**

広島トヨペット 082-241-3345

この街が好きだから...

**しまなみ信用金庫**



# かお 300年前に創業し伝統を守る 檜皮・こけら葺き屋根工事が専門

(株)児島工務店  
社長

こ じま しん すけ  
児島真介さん  
(47)



児島工務店が檜皮葺き屋根を手掛けた国宝吉備津神社社殿

▷(株)児島工務店＝岡山市北区平和町4-7、電086・232・2223。1720（享保5）年創業。従業員数22人。



▷児島真介＝1978年2月11日生まれ。サッカー、ゴルフ、スキューバダイビングを趣味とするスポーツマン。仕事の合間には全国各地の美術館、博物館、スーパー巡りを楽しんでいる。

吉備津神社の屋根は瓦で葺かれておらず、茶色い木質のものでできている。檜皮葺（ひわだぶき）と呼ばれ、ヒノキの皮を屋根材として使用する日本独自の屋根なのだ。300年前に創業した(株)児島工務店は、通常の建築業者では手掛けることのできない伝統的な檜皮葺き、こけら葺きの屋根工事を専門的に行う企業だ。

「吉備津神社の屋根はどのようにして作られているのでしょうか」

「まずは屋根の材料として樹齢80年以上のヒノキの樹皮を剥いで幅15cm、長さ75cmほどに切り揃えたものを何十万枚も用意します。土台となる野地の上にこれを竹釘で打ち付けていくのですが、少しずつずらしながら何層も重ね合わせていくことであの美しい曲面を作ることが出来ます。熟練した職人は口の中に数十本の竹釘を含み、1本ずつ取り出しながら目にも止まらぬ速さで檜皮を所定の位置に打ち留めていきます。軒の部分はとくに分厚く重ね合

わせ、断面をきれいに切り揃えて量感を出しています」

「飛鳥時代に仏教とともに瓦屋根の技術が伝えられ、寺院の多くは瓦屋根になっていますが、それ以前に創建された神社の社殿では今も檜皮葺きの屋根がよく見られます。ヒノキから採取した樹皮は10年ほどで再生し、また檜皮を取ることが出来ます。檜皮葺きは日本独自のリサイクル素材による屋根作成技法で、環境保全にも貢献しています」

「屋根だけを手掛けておられるのですか」

「そうです。社殿の本体は現代の建築会社さんが建てても、檜皮葺き、こけら葺き等の屋根は私ども専門業者が伝統的工法で葺き上げています。岡山後楽園の延養亭や島根の出雲大社を始め北海道の五稜郭にある函館奉行所から沖縄首里城まで、国宝、重要文化財の建物を含め全国の建物の屋根を手掛けています。個人の住宅や門に使われることもあり、よく注意して見ると私たちの周囲には檜皮葺、こけら

葺きの屋根が結構ありますよ」

「こけら葺きとはあまり聞かない言葉ですが」

「こけら板という木の板で屋根を葺く伝統工法で、岡山後楽園や金閣寺でも見ることが出来ます。当社ではこけら板の作成段階から自社で行っています。サワラや杉などの太い丸太を輪切りにし、長さ30cmで幅15cm前後、厚さ3mmほどの長方形に整形します。こうしてできたこけら板を檜皮と同じように何千枚、何万枚も少しずつずらしながら重ね合わせて竹釘で留めることで曲線的な屋根を作ることが出来ます」

「全国でお仕事なさっているのですか」

「檜皮葺きの屋根は35、40年毎に葺き替える必要があるため再訪する建物も多々あり、職人集団が日本中を巡りながら仕事に従事しています。一人前の職人になるには10年ほどかかりますが、入社後に屋根技能師養成研修所に入所することもでき、費用は全額当社で負担します」